コミュニティ・スクール委員会の活動･地域のうごき

CS委員会の活動

【子供熟議（主催:CS 委員会）】

1月 18 日（土）、五中において3校の子供たちによる子供熟議が開催されました。今回のテーマは「いじめのない学園を作るためにみんなができること」です。前半 20 分は各グループで「これっていじめ？」「いじめってどういう事？」を思いつくまま紙に書き出し、後半 25 分で、解決策を考えていきました。どのグループも打ち解けるのに多少時間がかかりましたが、進行役の CS 委員に促され、少しずつ意見が出てきます。「ささいな事から始まるよね」「遊び感覚だったりする」「1対1だとケンカだけど、1対多だといじめじゃない？」テーマが重いせいか、子供たちも慎重に言葉を選んでいる様子。最後にグループごとにまとめを発表しましたが、それぞれよく考えた様子が伺えました。参加した子供たちからは、色々な人の意見が聞けて良かった、今回の話し合いを活かしていじめの防止に努めたい、等の声を聞く事ができました。このようなディスカッションの能力を身に着けることは、とても大事なことです。今後も子供熟議の取り組みが活発になされ、その経験が普段の学校生活の中にも自然な形で取り込まれたら、と思いました。（Y）

学園をとりまく動き

【合同自主防災訓練（主催:3校おやじの会）】

昨年 12 月8日に地域防災活動の一環として鷹南学園3校おやじの会並びに鷹南倶楽部のメンバー約20名にて「自主防災訓練」を行いました。今年度の防災訓練には三鷹消防署から3名の指導員が見え、あおやぎ公園内にある非常用資材の説明や実際に使用する簡易トイレの組立・コミュニティセンターのプールを使用し放水訓練等を行いました。実際にみんなで組立てをし放水訓練を行った事で、組立て手順や機械の操作方法を理解し特定の人がいなくても作業ができるようになりました。また各会の更なる団結力も養われました。訓練の終盤には、地域内の防火水槽の場所の確認やマンホールの開け方など、災害時に迷わず対応ができるよう指導も頂きました。

このように訓練をする事により現場での段取りや何を優先して行うのか等、災害時に重要なポイントを各人が学べた事と思います。今後もこのような訓練を重ね災害時に3校おやじの会並びに鷹南倶楽部が地域の方々に貢献できるよう続けて行きたいと思います。（T）

【子供たちに負けられない！大人だって一歩前へ　～鷹南倶楽部】鷹南倶楽部代表　渡辺篤志

中原小、東台小そして五中のおやじの会で、職業も年齢も違うおやじ達が一緒に自分自身も楽しみながら活動してきました。そして子供たちが卒業後も、OB として現役おやじ会を手伝っているうちに、せっかく確立してきたおやじ同士のつながりや、学校関係者との交流ネットワークを今後も活かしていくために、おやじ会 OB だけでなく老若男女を問わず参加できる鷹南学園関係者（現役保護者、保護者OB／OG、地域の学校支援関係者、卒業生）による鷹南倶楽部を昨年設立しました。いままで OB 会として企画してきた合同の災害時対応訓練・救急救命講習や、交流を深めるためのソフトボール大会なども続けていきたいと思います。

地域の子供たちのため、地域の活性化のためという大きな志がありますが、それと同時に自分達も楽しめる会を目指し、サークル活動なども鷹南倶楽部内の活動として始めています。

このような活動により、地域の子供たちを見守り、育て、また地域の活性化にもつながるよう今後も活動していきたいと思います。

【鷹南祭（主催:五中おやじの会）】

３月９日、五中にて鷹南祭が開催されました。中庭の特設ステージでは、五中吹奏楽部、東台小金管バンド、中原小六年生スタンツ、生徒や保護者の和太鼓やバンドの演奏などが繰り広げられ、生徒による模擬店が大盛況。校舎内も生徒の作品展示やカフェ、PTA によるバザーなどで賑わいました。体育館では TOM さんによる弾き語り、三鷹消防署の古川さんによる震災復旧支援のお話があり、学園歌と「キセキ」の全員合唱で締めくくられました。模擬店の収益の一部は、復興支援のため今年も宮城県の女川中学校に寄付されるとのことです。（M）

鷹南学園
コミュニティ・スクール委員会だより
平成 25 年度第３号　　発行日：平成 26 年３月 14 日
発行責任者：鷹南学園ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｽｸｰﾙ委員会　会長　小田切茂美　編集：同委員会広報部

鷹南っ子ジャンプ・アップ・プランを通じて

鷹南学園CS委員会副会長（ｻﾎﾟｰﾄ部担当）　松本　猛

『鷹南っ子ジャンプ･アップ･プラン』は、中原小･東台小･五中の子供たちを家庭･学校･地域が力を合わせ、鷹南の子供たちとして、成長を応援するプランです。「鷹南の子供たちってどんな子供たち？」、「地域でどんな子供たちを育てたいのか？」からスタートして、子供たちがたくましく生きていくための一助としたいものです。

CS委員による「育みたい鷹南っ子の姿熟議」、保護者の皆様のご協力をいただいた「ジャンプ･アップ･プランアンケート」と「学園評価アンケート」の結果を見ると、次のようなテーマが重視されていることがわかります。

1.「家庭での会話」、「褒める･励ます」、「集団で力を合わせる」こと
＝自信をつけること、信頼感に関係すること
2.「家庭学習習慣作り」、「いじめはしない」
＝家庭･学校･地域でおこなう環境作りやルール作りと関係すること
3.「何事もやってみる、あきらめずにやりとげる」
＝気持の持ち方や体験（場数）に関係すること

そして、東京都体力検査の結果で鷹南学園の子供たちの体力低下の傾向が見えましたので、バランスのよい体力向上を図る視点を加えました。

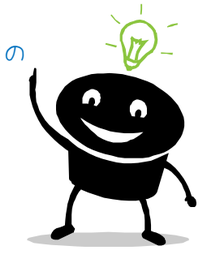
このような経緯を経て、2014 年度からの鷹南学園コミュニティ･スクールの取り組みテーマとして次の4点を設定し、家庭と学校と地域で力を合わせて実行してまいりたいと思います。

今後の計画の案内やご協力のお願いを随時おこなっていきますので、よろしくお願いします。

鷹南学園コミュニティ･スクール重点実行テーマ

1. 学習習慣作り（家庭･学校･地域）
2. バランスのよい体力の向上
3. チャレンジ精神、あきらめない力、チームで協働する力の育み
4. いじめのない学園作り

【鷹南名案集　～体力作り編～】



鷹南っ子ジャンプ･アップ･プラン･アンケートでよせられた、たくさんのアイデア💡の中から、ちょっとおもしろいものを PICK UP してみました✨　今回は、体力作り編。

☆家族みんなでチャレンジする
⇒さか上がりやなわとび、昔はできたけど今はどうですか？

☆休日は、家族でスポーツ
☆子供が太ってきたと感じたら、ウォーキングに誘う
☆子供に興味がありそうなスポーツに誘う（ボウリングやゴルフなど）
⇒一緒にできるスポーツ、いいですね。

☆よく笑う　⇒やっぱりそれが健康の源！

鷹南っ子ジャンプアッププラン
わたしには、なにができますか？

たとえば・・・

見えてきた来年度の取り組みテーマ。
すでに始まっている取り組みがあれば、それをもっと活かしていく方法を、
なにをすればいい？どうすればいい？はこれからという課題があれば、
チエとチカラをよせあって、実現できる取り組みの提案をめざします。

チエとチカラを寄せ合うのは「あなたとわたし」です

CS 委員会では、保護者と学校のアイディア交換を実施しました。

鷹南スタンダードで「学ぶ姿勢」「学ばせる姿勢」を意識。
何歳になっても生きてくる「学ぶ力」を身につけるのが狙いです。
また、朝読書（五中）、読書マラソン（東台）などの取り組みも。

学校図書館やできたばかりの南部図書館も活用できます！

学習習慣づくり

学校は、
定期試験前の学習計画表指導の徹底。
学年×10分の宿題、自由課題のススメ

家庭は、
好奇心、計画性、自主性
家庭で一緒に読書の習慣
いっしょにいろんな検定を受けてみる

地域は、
地域の人財を活かした学習支援
おもしろ「学びの場」づくり

あなたは？

わたしは・・・
学園統一した一週間分のスケジュール表を作り、そこに自分で決めたスケジュールを書き込んで机に貼ったら、「見える化」されて自ら机に向かえるようにならないかな？

体力向上

学校は、
体育授業「導入 10 分」基本運動
（腕立て伏せ、背筋、腹筋）、など。

特にボール投げが苦手らしいという調査報告をうけて、小学校では、教員野球チームで大活躍の先生方による「○○先生のボール投げ特別授業」が行われました。
基礎体力作りとして、小中ともに、大なわ跳び、短なわ跳びへのさらに積極的な取り組みを進めています。

家庭は、
外遊びの機会を大切に
家事手伝いの活用

地域は、
地域の運動会、学校と連携してのマラソン大会
安心して外遊びのできるまち作り

あなたは？

わたしは・・・
こどもといっしょに早起きして、朝日にむかって「おはよー」って叫んでみる。爽快な一日のスタート！？

チャレンジ精神 協働する力（ちから） あきらめない力

学校は、
兄弟学年での活動、集会活動、行事
部活動　中一生、入部率 100%
児童会生徒会交流会を活発に

家庭は、
ギリギリまで見守る
一緒にやってみようか？と声かけ

地域は、
ボランティアやチャレンジ機会をたくさん作る
モデルとなるような生き生きとした大人の姿を見せる

あなたは？

わたしは・・・
お手本になることは難しいけれど、いっしょにやってみることならできるかも。
自分の経験、なにかの役に立てることはできるかな？

学校・学園と地域が連携して、さまざまなボランティアの機会をつくっています。
コミュニティまつり（住協）、コミュニティ運動会（住協）、ミニ運動会（住協）、丸池わくわくまつり（丸池の里わくわく村）、地域総合防災訓練（災対連）、中原小チャレンジ・キャンプ（中原小オヤジの会、東台小キャンプ（東台小おやじの会）、鷹南祭（五中おやじの会）、ほかにもいろいろ。

いじめのない 学園・学校

学校は、
いじめのサインに気づくこと
人の痛みに気づく機会をつくること

家庭は、
いじめのサインに気づくこと
こどもを信じること

地域は、
地域でのこどもの姿を見守ること
大人として、しかること、ほめること
大人からあいさつすること

あなたは？

こども熟議（裏面参照）の話し合いを元に、児童会が中心となって「いじめをなくす」ことをアピールした寸劇を全校生徒の前で披露（中原小）したり、26年度には児童会・生徒会交流で「いじめ」について自分たちの手でできることについての議題を取り上げ、6月の学園集会で発表したりする（予定）など取り組みが進んでいます。

わたしは・・・
こどもといっしょにニュースを見て、いろんなことをいっしょに考えてみようかな。
こどもの考え、ちゃんと聞いたことあるかなぁ？自分の思い、こどもに伝えたことあるかなぁ？じぶん自身、むかしは「大人に話してもわかってくれない」とあきらめていたけれど、ほんとうに「わかりあえない」のかな？

学校、家庭、地域が、それぞれの立場で、
それぞれの得意を生かしながら子どもたちを支える
お互いの良さをつなぎ合って、新しい支えの形を生み出す